Agilent N5700シリーズ・システムDC電源

モデル：N5741A-49A、N5750-52A、N5761-69A、N5770A-72A

Data Sheet

- 24種類のモデル：750 W/1500 Wの出力パワー
- 最大600 V、180 A
- 小型で高密度の1 Uパッケージ
- 電圧／電流測定機能内蔵
- 過電圧／過電流防止機能
- 85～265 Vacユニバーサル AC電源入力
- LAN、USB、GPIBインタフェースを標準装備
- Sorensen社 DLM DC電源およびXantrex社 XFR DC電源のコマンドと互換

手頃な価格の基本システムDC電源ファミリ

Agilent N5700シリーズ・システムDC電源は、小型（1 U）パッケージで、適切な性能をお手頃な価格で提供します。この750 W/1500 W単出力プログラマブルDC電源ファミリは、基本的なDC電源アプリケーション用に24種類のモデルを提供しています。電圧／電流測定機能を内蔵し、安定した出力パワー、6 V～600 V/1.3 A～180 Aの範囲の出力電圧／電流が得られます。

この安価な電源は、複数の標準I/Oインタフェースなどのシステム組み込み機能を備えており、航空宇宙／防衛、自動車、コンポーネント、通信業界の研究開発、デザイン検証、製造エンジニアのテスト・システム開発に適しています。

小型で高密度のパッケージによりラック・スペースを削減

N5700は、小型でスペースを取らない高さ1 U、幅48 cmのパッケージで、最大1500 Wの出力パワーに対応しています。通気孔が上面や底面ではなく、前面、側面、背面にあるため、他の測定器を本器の上下に積み重ねて配置できるので、貴重なラック・スペースを節約できます。

Agilent Technologies

簡単なフロント・パネル操作

操作はフロント・パネルの回転ノブとボタンを使って、簡単に行え、出力電圧や電流の粗調整／微調整、保護設定、電源投入時の状態の設定（直近の設定または工場デフォルト設定）が可能です。出力電圧と電流が同時に表示され、LEDインジケータによって電源の状態と動作モードがわかります。フロント・パネルの回転ノブとボタンをロックして、電源パラメータが誤って変更されないようにすることも可能です。

さまざまなデバイス保護

デバイスが損傷を受けないようにするために、N5700シリーズは、障害条件が生じた場合に電源出力をシャット・ダウンする過熱、過電流、過電圧保護（OVP）機能を備えています。また、出力電圧のリミット値を下回る調整を防ぐ電圧低下リミット（UVL）機能も備えています。UVL機能とOVP機能を併用して、感度の高い負荷回路用の保護ウィンドウを作成することもできます。

図1. フロント・パネルの回転ノブとボタンにより、N5700電源の操作が簡単に行えます。

図2. 内蔵イーサネット、USB 2.0、GPIBインタフェースにより、システム接続が簡単になります。

システム接続が簡単

N5700シリーズ電源は、GPIB、イーサネット/LAN、USB 2.0インタフェースを標準装備しており、ご希望のI/Oインタフェースを使用できます。

リモート・アクセス／制御

内蔵のWebサーバにより、Microsoft® Internet Explorerなどの標準ブラウザによる測定器のリモート・アクセスや制御が可能です。Webブラウザを使って、N5700をリモートから設定、モニタ、操作することができます。

システムの統合／構成が簡単

システム開発を容易にするために、N5700にはIVI-COMドライバが標準装備されています。N5700は、使いやすいSCPI（Standard Commands for Programmable Instruments）をサポートしています。

コマンドの互換性

N5700は、Xantrex社XFRシリーズ電源、Sorensen社DLMシリーズ電源、Agilent 603xシリーズ電源用の互換コマンド・セットを内蔵しています。このため、N5700への変更が容易に行えます。これらの製品の比較については、以下のアプリケーション・ノートを参照してください。

- Side-by-side comparison：Agilent N5700 Series System DC Source and Sorensen DLM DC Power Supply, AN 1502-1, 5989-1628EN
- Side-by-side comparison：Agilent N5700 Series System DC Source and Xantrex XFR AN 1502-2, 5989-1630EN

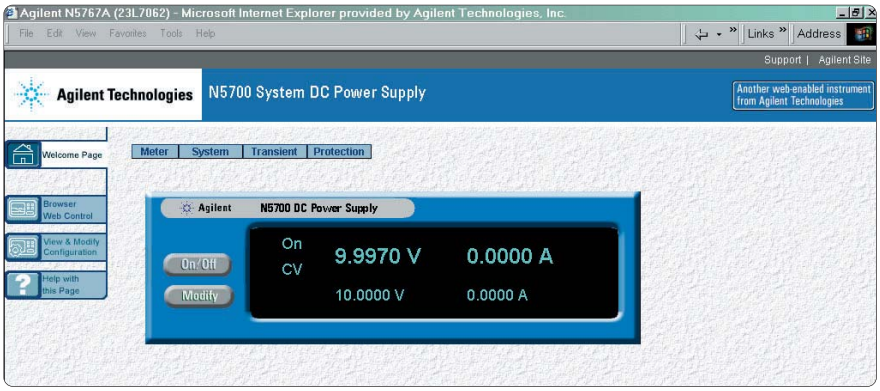


図3. 電源のリモート・アクセス／制御を実現するN5700シリーズのWebグラフィカル・ユーザ・インタフェース

柔軟な構成：ユニットを並列／直列に接続

高い出力パワーが必要な場合は、同じ定格の機器を最高4台まで並列に接続して出力電流を高めたり、2台の同じ定格の機器を直列に接続して出力電圧を高めることができます（出力端子のアイソレーションを参照）。

アナログ・プログラミング／モニタ

出力電圧および電流は、0～5 Vまたは0～10 Vのアナログ電圧、0～5 kΩまたは0～10 kΩの抵抗で、ゼロからフルスケールの範囲でプログラム可能です。

ユニバーサルAC電源入力

N5700モデルはユニバーサルAC電源入力を備えているので、世界中のAC主電源の入力電圧で自動的に動作させることができます。さらに、電圧標準を別の電圧標準に切替える場合に、スイッチを設定したり、ヒューズを変更しなくても、85～265 Vac、47～63 Hzの電源電圧で動作します。また、力率補正機能も備えています。

ラック・マウント

各ユニットには、ラック・マウント用の取っ手やハンドルが標準装備されています。さらに、N5740Aラック・マウント・スライド・キットには、N5700シリーズをマウントするのに必要なハードウェアが付属し、N5700をテスト・ラックに簡単に組み込めます。

性能仕様　特に明記されていない限り、仕様は0～40℃の周囲温度範囲で保証されています。

		N5741A	N5742A	N5743A	N5744A	N5745A	N5746A
DC出力定格	電圧	6 V	8 V	12.5 V	20 V	30 V	40 V
	電流	100 A	90 A	60 A	38 A	25 A	19 A
	パワー	600 W	720 W	750 W	760 W	750 W	760 W
出力リップル／ノイズ	CV p-p[1]	60 mV	60 mV	60 mV	60 mV	60 mV	60 mV
	CV rms[2]	8 mV	8 mV	8 mV	8 mV	8 mV	8 mV
負荷変動	電圧	2.6 mV	2.8 mV	3.25 mV	4 mV	5 mV	6 mV
（10%から90%に変動時）	電流	25 mA	23 mA	17 mA	12.6 mA	10 mA	8.8 mA
電源変動	電圧	2.6 mV	2.8 mV	3.25 mV	4 mV	5 mV	6 mV
（85～132 Vac入力または170～265 Vac入力から変更）	電流	12 mA	11 mA	8 mA	5.8 mA	4.5 mA	3.9 mA
プログラミング確度	電圧 0.05%＋	3 mV	4 mV	6.25 mV	10 mV	15 mV	20 mV
	電流 0.1%＋	100 mA	90 mA	60 mA	38 mA	25 mA	19 mA
測定確度	電圧 0.1%＋	6 mV	8 mV	12.5 mV	20 mV	30 mV	40 mV
	電流 0.1%＋	300 mA	270 mA	180 mA	114 mA	75 mA	57 mA
負荷変動回復時間[3]	時間	≦1.5 ms	≦1.5 ms	≦1.5 ms	≦1 ms	≦1 ms	≦1 ms
補足特性	補足特性は、保証されていませんが、デザインまたは型式テストから求めた代表的な性能を表します。						
出力応答時間	立上がり、フル負荷	0.08 s	0.08 s	0.08 s	0.08 s	0.08 s	0.08 s
（抵抗負荷で、定格	立下がり、フル負荷	0.05 s	0.05 s	0.05 s	0.05 s	0.08 s	0.08 s
出力の±1.0%以内にセトリングするまで）	立下がり、負荷なし	0.5 s	0.6 s	0.7 s	0.8 s	0.9 s	1.0 s
コマンド応答時間[4]				55 ms			
リモート・センス補正	電圧／負荷リード	1 V	1 V	1 V	1 V	1.5 V	2 V
過電圧保護	範囲	0.5～7.5 V	0.5～10 V	1～15 V	1～24 V	2～36 V	2～44 V
	確度	0.06 V	0.08 V	0.125 V	0.20 V	0.30 V	0.40 V
出力リップル／ノイズ[5]	CC rms	200 mA	180 mA	120 mA	76 mA	63 mA	48 mA
プログラミング分解能	電圧	0.72 mV	0.96 mV	1.5 mV	2.4 mV	3.6 mV	4.8 mV
測定分解能	電流	12 mA	10.8 mA	7.2 mA	4.56 mA	3 mA	2.3 mA
フロント・パネル表示確度	電圧	0.03 V	0.04 V	0.06 V	0.10 V	0.15 V	0.20 V
（4桁；±1カウント）	電流	0.50 A	0.45 A	0.30 A	0.19 A	0.13 A	0.10 A

注記：

1 最高20 MHz

2 5 Hz～1 MHz

3 負荷電流が定格出力電流の10%から90%に変化した場合に、出力電圧が定格出力の0.5%以内に回復するまでの時間。定格出力の10%～100%の範囲の電圧設定ポイント

4 出力応答時間にこれを加算して全プログラミング時間を算出

5 フル負荷における出力電圧の10%～100%で、5 Hz～1 MHz（6 Vのユニットの場合、出力電圧の33%～100%）

性能仕様　特に明記されていない限り、仕様は0～40℃の周囲温度範囲で保証されています。

		N5747A	N5748A	N5749A	N5750A	N5751A	N5752A
DC出力定格	電圧	60 V	80 V	100 V	150 V	300 V	600 V
	電流	12.5 A	9.5 A	7.5 A	5 A	2.5 A	1.3 A
	パワー	750 W	760 W	750 W	750 W	750 W	780 W
出力リップル／ノイズ	CV p-p[1]	60 mV	80 mV	80 mV	100 mV	150 mV	300 mV
	CV rms[2]	8 mV	8 mV	8 mV	12 mV	20 mV	60 mV
負荷変動	電圧	8 mV	10 mV	12 mV	17 mV	32 mV	62 mV
（10%から90%に変動時）	電流	7.5 mA	6.9 mA	6.5 mA	6 mA	5.5 mA	5.26 mA
電源変動	電圧	8 mV	10 mV	12 mV	17 mV	32 mV	62 mV
（85～132 Vac入力または170～265 Vac入力から変更）	電流	3.25 mA	2.95 mA	2.75 mA	2.5 mA	2.25 mA	2.13 mA
プログラミング確度	電圧 0.05%＋	30 mV	40 mV	50 mV	75 mV	150 mV	300 mV
	電流 0.1%＋	12.5 mA	9.5 mA	7.5 mA	5 mA	2.5 mA	1.3 mA
測定確度	電圧 0.1%＋	60 mV	80 mV	100 mV	150 mV	300 mV	600 mV
	電流 0.1%＋	37.5 mA	28.5 mA	22.5 mA	15 mA	7.5 mA	3.9 mA
負荷変動回復時間[3]	時間	≦1 ms	≦1 ms	≦1 ms	≦2 ms	≦2 ms	≦2 ms
補足特性	補足特性は、保証されていませんが、デザインまたは型式テストから求めた代表的な性能を表します。						
出力応答時間	立上がり、フル負荷	0.08 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.25 s
（抵抗負荷で、定格	立下がり、フル負荷	0.08 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.30 s
出力の±1.0%以内にセトリングするまで）	立下がり、負荷なし	1.1 s	1.2 s	1.5 s	2.0 s	3.0 s	4.0 s
コマンド応答時間[4]				55 ms			
リモート・センス補正	電圧／負荷リード	3 V	4 V	5 V	5 V	5 V	5 V
過電圧保護	範囲	5～66 V	5～88 V	5～110 V	5～165 V	5～330 V	5～660 V
	確度	0.60 V	0.80 V	1 V	1.5 V	3 V	6 V
出力リップル／ノイズ[5]	CC rms	38 mA	29 mA	23 mA	18 mA	13 mA	8 mA
プログラミング分解能	電圧	7.2 mV	9.6 mV	12 mV	18 mV	36 mV	72 mV
測定分解能	電流	1.5 mA	1.14 mA	0.9 mA	0.6 mA	0.3 mA	0.156 mA
フロント・パネル表示確度	電圧	0.3 V	0.4 V	0.5 V	0.75 V	1.5 V	3 V
（4桁；±1カウント）	電流	0.0625 A	0.0475 A	0.0375 A	0.0250 A	0.0125 A	0.0065 A

注記：

1 最高20 MHz

2 5 Hz～1 MHz

3 負荷電流が定格出力電流の10%から90%に変化した場合に、出力電圧が定格出力の0.5%以内に回復するまでの時間。定格出力の10%～100%の範囲の電圧設定ポイント

4 出力応答時間にこれを加算して全プログラミング時間を算出

5 フル負荷における出力電圧の10%～100%で、5 Hz～1 MHz（6 Vのユニットの場合、出力電圧の33%～100%）

性能仕様　特に明記されていない限り、仕様は0～40℃の周囲温度範囲で保証されています。

		N5761A	N5762A	N5763A	N5764A	N5765A	N5766A
DC出力定格	電圧	6 V	8 V	12.5 V	20 V	30 V	40 V
	電流	180 A	165 A	120 A	76 A	50 A	38 A
	パワー	1080 W	1320 W	1500 W	1520 W	1500 W	1520 W
出力リップル／ノイズ	CV p-p[1]	60 mV	60 mV	60 mV	60 mV	60 mV	60 mV
	CV rms[2]	8 mV	8 mV	8 mV	8 mV	8 mV	8 mV
負荷変動	電圧	2.6 mV	2.8 mV	3.25 mV	4 mV	5 mV	6 mV
（10%から90%に変動時）	電流	41 mA	38 mA	29 mA	20.2 mA	15 mA	12.6 mA
電源変動	電圧	2.6 mV	2.8 mV	3.25 mV	4 mV	5 mV	6 mV
（85～132 Vac入力または170～265 Vac入力から変更）	電流	20 mA	18.5 mA	14 mA	9.6 mA	7 mA	5.8 mA
プログラミング確度	電圧 0.05%＋	3 mV	4 mV	6.25 mV	10 mV	15 mV	20 mV
	電流 0.1%＋	180 mA	165 mA	120 mA	76 mA	50 mA	38 mA
測定確度	電圧 0.1%＋	6 mV	8 mV	12.5 mV	20 mV	30 mV	40 mV
	電流 0.1%＋	540 mA	495 mA	360 mA	228 mA	150 mA	114 mA
負荷変動回復時間[3]	時間	≦1.5 ms	≦1.5 ms	≦1.5 ms	≦1 ms	≦1 ms	≦1 ms
補足特性	補足特性は、保証されていませんが、デザインまたは型式テストから求めた代表的な性能を表します。						
出力応答時間	立上がり、フル負荷	0.08 s	0.08 s	0.08 s	0.08 s	0.08 s	0.08 s
（抵抗負荷で、定格	立下がり、フル負荷	0.05 s	0.05 s	0.05 s	0.05 s	0.08 s	0.08 s
出力の±1.0%以内にセトリングするまで）	立下がり、負荷なし	0.5 s	0.6 s	0.7 s	0.8 s	0.9 s	1.0 s
コマンド応答時間[4]				55 ms			
リモート・センス補正	電圧／負荷リード	1 V	1 V	1 V	1 V	1.5 V	2 V
過電圧保護	範囲	0.5～7.5 V	0.5～10 V	1～15 V	1～24 V	2～36 V	2～44 V
	確度	0.06 V	0.08 V	0.125 V	0.20 V	0.30 V	0.40 V
出力リップル／ノイズ[5]	CC rms	360 mA	330 mA	240 mA	152 mA	125 mA	95 mA
プログラミング分解能	電圧	0.72 mV	0.96 mV	1.5 mV	2.4 mV	3.6 mV	4.8 mV
測定分解能	電流	21.6 mA	19.8 mA	14.4 mA	9.12 mA	6 mA	4.6 mA
フロント・パネル表示確度	電圧	0.03 V	0.04 V	0.0625 V	0.1 V	0.15 V	0.2 V
（4桁；±1カウント）	電流	0.90 A	0.825 A	0.60 A	0.38 A	0.25 A	0.19 A

注記：

1 最高20 MHz

2 5 Hz～1 MHz

3 負荷電流が定格出力電流の10%から90%に変化した場合に、出力電圧が定格出力の0.5%以内に回復するまでの時間。定格出力の10%～100%の範囲の電圧設定ポイント

4 出力応答時間にこれを加算して全プログラミング時間を算出

5 フル負荷における出力電圧の10%～100%で、5 Hz～1 MHz（6 Vのユニットの場合、出力電圧の33%～100%）

性能仕様　特に明記されていない限り、仕様は0～40℃の周囲温度範囲で保証されています。

		N5767A	N5768A	N5769A	N5770A	N5771A	N5772A
DC出力定格	電圧	60 V	80 V	100 V	150 V	300 V	600 V
	電流	25 A	19 A	15 A	10 A	5 A	2.6 A
	パワー	1500 W	1520 W	1500 W	1500 W	1500 W	1560 W
出力リップル／ノイズ	CV p-p[1]	60 mV	80 mV	80 mV	100 mV	150 mV	300 mV
	CV rms[2]	8 mV	8 mV	8 mV	12 mV	20 mV	60 mV
負荷変動	電圧	8 mV	10 mV	12 mV	17 mV	32 mV	62 mV
（10%から90%に変動時）	電流	10 mA	8.8 mA	8 mA	7 mA	6 mA	5.5 mA
電源変動	電圧	8 mV	10 mV	12 mV	17 mV	32 mV	62 mV
（85～132 Vac入力または170～265 Vac入力から変更）	電流	4.5 mA	3.9 mA	3.5 mA	3 mA	2.5 mA	2.26 mA
プログラミング確度	電圧 0.05%＋	30 mV	40 mV	50 mV	75 mV	150 mV	300 mV
	電流 0.1%＋	25 mA	19 mA	15 mA	10 mA	5 mA	2.6 mA
測定確度	電圧 0.1%＋	60 mV	80 mV	100 mV	150 mV	300 mV	600 mV
	電流 0.1%＋	75 mA	57 mA	45 mA	30 mA	15 mA	7.8 mA
負荷変動回復時間[3]	時間	≦1 ms	≦1 ms	≦1 ms	≦2 ms	≦2 ms	≦2 ms
補足特性	補足特性は、保証されていませんが、デザインまたは型式テストから求めた代表的な性能を表します。						
出力応答時間	立上がり、フル負荷	0.08 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.25 s
（抵抗負荷で、定格	立下がり、フル負荷	0.08 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.15 s	0.30 s
出力の±1.0%以内にセトリングするまで）	立下がり、負荷なし	1.1 s	1.2 s	1.5 s	2.0 s	3.0 s	4.0 s
コマンド応答時間[4]				55 ms			
リモート・センス補正	電圧／負荷リード	3 V	4 V	5 V	5 V	5 V	5 V
過電圧保護	範囲	5～66 V	5～88 V	5～110 V	5～165 V	5～330 V	5～660 V
	確度	0.60 V	0.80 V	1 V	1.5 V	3 V	6 V
出力リップル／ノイズ[5]	CC rms	75 mA	57 mA	45 mA	35 mA	25 mA	12 mA
プログラミング分解能	電圧	7.2 mV	9.6 mV	12 mV	18 mV	36 mV	72 mV
測定分解能	電流	3 mA	2.28 mA	1.8 mA	1.2 mA	0.6 mA	0.312 mA
フロント・パネル表示確度	電圧	0.3 V	0.4 V	0.5 V	0.75 V	1.5 V	3 V
（4桁；±1カウント）	電流	0.125 A	0.095 A	0.075 A	0.050 A	0.025 A	0.013 A

注記：

1 最高20 MHz

2 5 Hz～1 MHz

3 負荷電流が定格出力電流の10%から90%に変化した場合に、出力電圧が定格出力の0.5%以内に回復するまでの時間。定格出力の10%～100%の範囲の電圧設定ポイント

4 出力応答時間にこれを加算して全プログラミング時間を算出

5 フル負荷における出力電圧の10%～100%で、5 Hz～1 MHz（6 Vのユニットの場合、出力電圧の33%～100%）

全モデル番号の補足特性

直列／並列機能

並列動作
最大4台のユニットをマスタ／スレーブ・モードで接続可能

直列動作
最大2台のユニットを直列に接続可能

出力端子のアイソレーション

6 V～60 Vのユニット
他の端子またはシャーシ・グランドから、±60 Vdc以上になる出力端子が1つもないこと

80 V～600 Vのユニット
他の端子またはシャーシ・グランドから、±600 Vdc以上になる出力端子が1つもないこと

ステートのストア／リコール

揮発性メモリ：16

アナログ・プログラミング

（出力電圧／電流）

入力信号（選択可能）；
0～5 V/0～10 V（フルスケール）

入力インピーダンス（選択可能）；
0～5 kΩ/0～10 kΩ（フルスケール）

インタフェース機能

GPIB
SCPI-1993、IEEE 488.2対応インタフェース

USB 2.0
Agilent I/O Libraryバージョン L.01.01が必要

10/100 LAN
Agilent I/O Libraryバージョン L.01.01が必要

Webサーバ
内蔵WebサーバにはInternet Explorer 5以上またはNetscape 6.2以上が必要

環境条件

環境
屋内用、設置カテゴリII（AC入力）、汚染度2

動作温度
0℃～40℃（100％負荷で）

保管温度
－20℃～70℃

動作湿度
30％～90％の相対湿度（結露なし）

保管湿度
10％～95％の相対湿度（結露なし）

高度
- 最高3000 m
  2000 m以上では、100 m当たり2％の割合で出力電流を下げる
- 2000 m以上では、100 m当たり1℃の割合で最高周囲温度を下げる

規制適合

EMC
- クラスA製品に関する欧州EMC指令89/336/EEC
- オーストラリアC-Tickマーク
- このISMデバイスは、カナダICES-001に準拠しています。

安全性
- 欧州低電圧指令73/23/EEC
- 米国およびカナダの安全規格
- 本製品に用いられているLEDはすべて、IEC 825-1準拠のクラス1です。

音響雑音

放射指令：
- 音圧Lp＜70 dBA（オペレータ位置）、*通常操作で、EN27779（型式テスト）に準拠

AC電源入力

公称入力
100～240 Vac；50/60 Hz

入力電流、750W
100 Vacで10.5 A（公称値）、200 Vacで5 A（公称値）

入力電流、1500W
100 Vacで21 A（公称値）、200 Vacで11 A（公称値）

入力レンジ
85～265 Vac、47～63 Hz

力率
0.99（公称入力／定格出力パワーで）

効率
76％～87％（750 Wユニット）
77％～88％（1500 Wユニット）

突入電流
＜25 A（750 Wのユニットの場合）
＜50 A（1500 Wのユニットの場合）

寸法

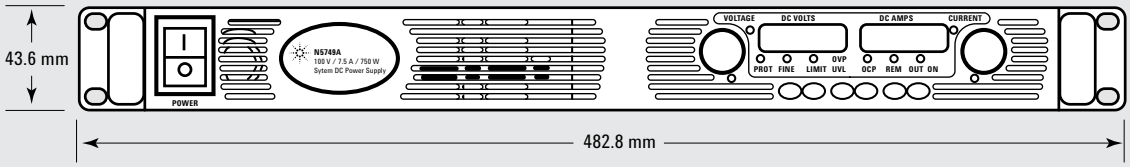
（コネクタ、ハンドルを除く）

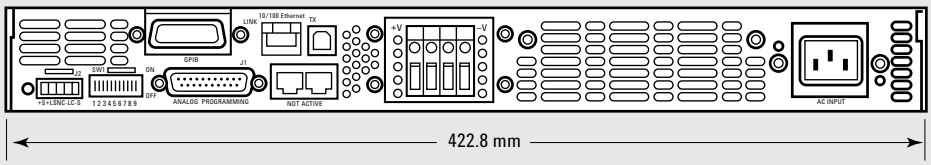
高さ	43.6 mm
幅	422.8 mm
奥行	432.8 mm

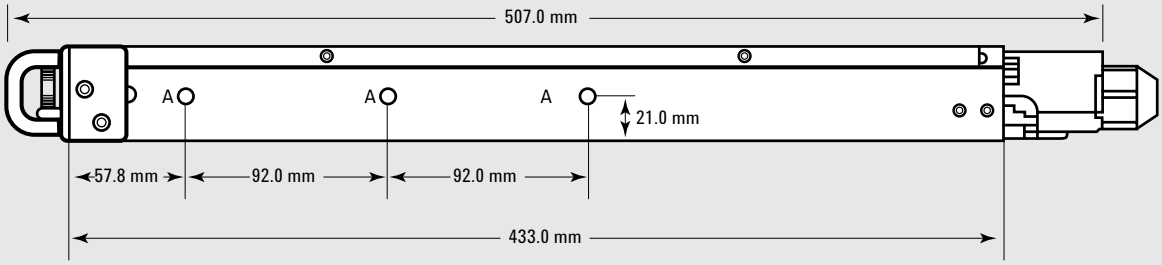
質量

750 W	7 kg
1500 W	8.5 kg

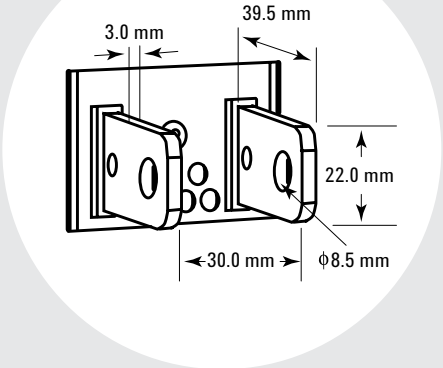
外形図



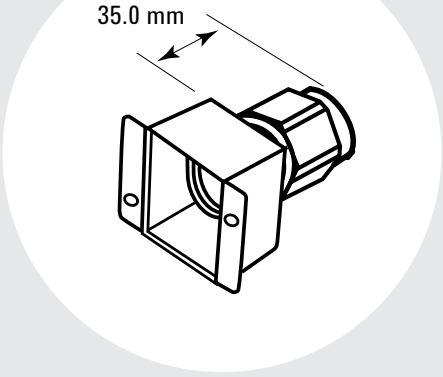




DC出力
母線部の詳細
6 V～60 Vモデル

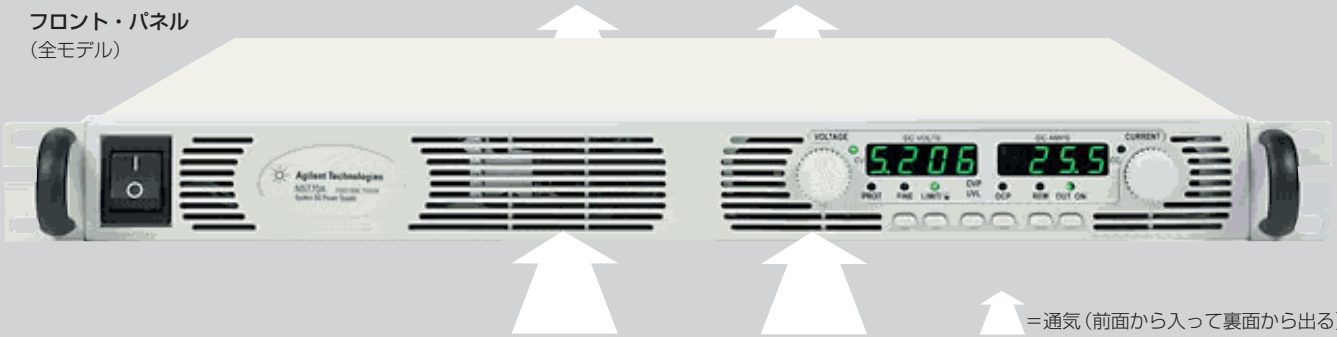


AC入力
緩衝部の詳細
1500 Wモデル



フロント・パネルとリア・パネル

フロント・パネル
（全モデル）



＝通気（前面から入って裏面から出る）

リア・パネル*
（6 V～60 V、1500 Wモデル）

（80 V～600 V、1500 Wモデル）

（6 V～60 V、750 Wモデル）

（80 V～600 V、750 Wモデル）

* 750 WモデルはIEC320　AC入力コネクタ

オーダ情報

モデル

750 Wモデル		
N5741A	システムDC電源	6 V、100 A、600 W
N5742A	システムDC電源	8 V、90 A、720 W
N5743A	システムDC電源	12.5 V、60 A、750 W
N5744A	システムDC電源	20 V、38 A、760 W
N5745A	システムDC電源	30 V、25 A、750 W
N5746A	システムDC電源	40 V、19 A、760 W
N5747A	システムDC電源	60 V、12.5 A、750 W
N5748A	システムDC電源	80 V、9.5 A、760 W
N5749A	システムDC電源	100 V、7.5 A、750 W
N5750A	システムDC電源	150 V、5 A、750 W
N5751A	システムDC電源	300 V、2.5 A、750 W
N5752A	システムDC電源	600 V、1.3 A、780 W

1500 Wモデル		
N5761A	システムDC電源	6 V、180 A、1080 W
N5762A	システムDC電源	8 V、165 A、1320 W
N5763A	システムDC電源	12.5 V、120 A、1500 W
N5764A	システムDC電源	20 V、76 A、1520 W
N5765A	システムDC電源	30 V、50 A、1500 W
N5766A	システムDC電源	40 V、38 A、1520 W
N5767A	システムDC電源	60 V、25 A、1500 W
N5768A	システムDC電源	80 V、19 A、1520 W
N5769A	システムDC電源	100 V、15 A、1500 W
N5770A	システムDC電源	150 V、10 A、1500 W
N5771A	システムDC電源	300 V、5 A、1500 W
N5772A	システムDC電源	600 V、2.6 A、1560 W

オプション

1500 Wモデル

オプション861
未終端電源コード、米国、カナダ、日本、中国、その他

オプション862
統一未終端電源コード、欧州

750 Wモデル

オプション900
電源コード、英国

オプション902
電源コード、欧州

オプション903
電源コード、米国、カナダ

オプション918
電源コード、日本

オプション922
電源コード、中国

アクセサリ

N5740A
ラック・マウント・スライド・キット（ラック・マウントに必要。標準的なシステム11ラック・マウント用ハードウェアは使用できません）

関連カタログ

Agilentのシステム DC電源と他社の電源を比較するには、以下のアプリケーション・ノートを参照してください。

- Side-by-side comparison: Agilent N5700 Series System DC Source and Sorensen DLM DC Power Supply, AN 1502-1
  5989-1628EN
  http://cp.literature.agilent.com/litweb/pdf/5989-1628EN.pdf

- How to Convert from a Sorensen DLM to an Agilent N5700, AN 1503-1
  5989-1629EN
  http://cp.literature.agilent.com/litweb/pdf/5989-1629EN.pdf

- Side-by-side comparison: Agilent N5700 Series System DC Source and Xantrex XFR System Power Supplies, AN 1502-2
  5989-1630EN
  http://cp.literature.agilent.com/litweb/pdf/5989-1630EN.pdf

- How to Convert from a Xantrex XFR to an Agilent N5700, AN 1503-2
  5989-1631EN
  http://cp.literature.agilent.com/litweb/pdf/5989-1631EN.pdf

- Trends in Medium Power(～1 kW) DC Power Supplies, 5989-1331EN
  http://cp.literature.agilent.com/litweb/pdf/5989-1331EN.pdf

N5700に付属のAgilent IOライブラリを使用すれば、ベンダに関係なくPCと測定器を簡単に接続できます。高い信頼性で測定器を制御でき、さまざまなソフトウェア開発環境で使用できます。

AgilentのIOライブラリ・スイートについて、次のWebサイトをご覧ください。
www.agilent.co.jp/find/iosuite

サポート、サービス、およびアシスタンス

アジレント・テクノロジーが、サービスおよびサポートにおいてお約束できることは明確です。リスクを最小限に抑え、さまざまな問題の解決を図りながら、お客様の利益を最大限に高めることにあります。アジレント・テクノロジーは、お客様が納得できる計測機能の提供、お客様のニーズに応じたサポート体制の確立に努めています。アジレント・テクノロジーの多種多様なサポート・リソースとサービスを利用すれば、用途に合ったアジレント・テクノロジーの製品を選択し、製品を十分に活用することができます。アジレント・テクノロジーのすべての測定器およびシステムには、グローバル保証が付いています。アジレント・テクノロジーのサポート政策全体を貫く2つの理念が、「アジレント・テクノロジーのプロミス」と「お客様のアドバンテージ」です。

アジレント・テクノロジーのプロミス

お客様が新たに製品の購入をお考えの時、アジレント・テクノロジーの経験豊富なテスト・エンジニアが現実的な性能や実用的な製品の推奨を含む製品情報をお届けします。お客様がアジレント・テクノロジーの製品をお使いになる時、アジレント・テクノロジーは製品が約束どおりの性能を発揮することを保証します。それらは以下のようなことです。

- 機器が正しく動作するか動作確認を行います。
- 機器操作のサポートを行います。
- データシートに載っている基本的な測定に係わるアシストを提供します。
- セルフヘルプ・ツールの提供。
- 世界中のアジレント・テクノロジー・サービス・センタでサービスが受けられるグローバル保証。

お客様のアドバンテージ

お客様は、アジレント・テクノロジーが提供する多様な専門的テストおよび測定サービスを利用することができます。こうしたサービスは、お客様それぞれの技術的ニーズおよびビジネス・ニーズに応じて購入することが可能です。お客様は、設計、システム統合、プロジェクト管理、その他の専門的なサービスのほか、校正、追加料金によるアップグレード、保証期間終了後の修理、オンサイトの教育およびトレーニングなどのサービスを購入することにより、問題を効率良く解決して、市場のきびしい競争に勝ち抜くことができます。世界各地の経験豊富なアジレント・テクノロジーのエンジニアが、お客様の生産性の向上、設備投資の回収率の最大化、製品の測定確度の維持をお手伝いします。

アジレント・テクノロジー株式会社

本社〒192-8510 東京都八王子市高倉町9-1

計測お客様窓口

受付時間 9:00-19:00（土・日・祭日を除く）
FAX、E-mail、Webは24時間受け付けています。

TEL ■■ 0120-421-345
(0426-56-7832)
FAX ■■ 0120-421-678
(0426-56-7840)
Email contact_japan@agilent.com
電子計測ホームページ
www.agilent.co.jp/find/tm

● 記載事項は変更になる場合があります。
ご発注の際はご確認ください。

Copyright 2005
アジレント・テクノロジー株式会社

電子計測UPDATE

www.agilent.co.jp/find/emailupdates-Japan
Agilentからの最新情報を記載した電子メールを無料でお送りします。

Agilent電子計測ソフトウェアおよびコネクティビティ

Agilentの電子計測ソフトウェアおよびコネクティビティ製品、ソリューション、デベロッパ・ネットワークは、PC標準に基づくツールによって測定器とコンピュータとの接続時間を短縮し、本来の仕事に集中することを可能にします。詳細については**www.agilent.co.jp/find/jpconnectivity**を参照してください。

Microsoft®およびWindows®は、Microsoft®社の米国登録商標です。

本書の製品仕様および内容は、予告なく変更されることがあります。

最新のフル仕様については、『N5700ユーザーズ・ガイド』（Agilentパーツ番号5969-2917）を参照してください。Webでも最新バージョンのユーザーズ・ガイドを提供しています。**www.agilent.co.jp/find/N5700**をご覧ください。

Agilent Technologies

October 20, 2005
5989-1330JA
0000-00DEP